

府督總濟台
輯編課報情

部報



貯蓄で示さう軍への感謝

昭和十七年九月二十日発行
昭和十七年四月一日発行
（毎月一回）

戦争と衣料
婦人看護助手訪問
國民防空の統制強化
土と闘

號日一月四



台 灣 總 督 府
情 報 課 編 輯



戦争と衣料

台湾の衣料品事情

**切符制は實施せず
それに代る對策確立**

古語に「衣食足りて禮節を知る」とあるが、食糧と並んで衣料が

如何にわれわれの生活と深い關係にあり、その取扱がまた如何に大切なものであるかを説いて妙である。處で此の大切な衣料となる織

殖産局 商工課

維資源は、常に國民の被服類を賄ふのみならず、戦時産業の根幹をなす生産力を充用資材となり、又敵を懐伏せしめつゝある第一

線つはもの、被服となり、兵器の資材となつてゐるのである。大抵の物資がさうである如く、纖維資源についても、この軍需及生産擴充用資材と茲で取上げようとする國民衣料とは全く競合の關係に立つてゐるのであつて、國民が日常の生活に總力戦の戰士たる自覺を深め、戦時最低生活に甘んずる志操を堅め、己が衣料品の節約を圖ることが出来

目次

(號日一月四)

臺灣の衣料品事情	殖産局商工課
内地では何故切符制を實施したか	一
臺灣は何故實施せぬか	二
對策をどうするか	三
今後の見透は	四
衣料生活の反省	五
現地報告	六
土と闘ふ	七
鐵道運賃の改正	八
編輯部	九
鐵道部運輸課	一〇

國民防空の統制強化	内務局長事務防空課
防空範圍の擴張	一
防火の強化	二
建築物の分散	三
防空従事者の強化	四
防空従事者扶助規則	五
時局 大東亞戰の推移	六
解説 大東亞戰の推移	七
看護助手教養所訪問	八
文藝 情報	九
松山氏	一〇
松山氏	一一
松山氏	一二

本報唯「大東亞戰」を運ぶ



オリザニンは弊社獨特の方法を以つて糖より抽出し得たるものにして製品は毎回嚴密且つ細心なる生物學的檢定を経て市販に供し、力價常に一定確實最も優秀なるビタミンBとして廣く治療界に賞用せられてゐる

脚氣の治療と豫防に、結核時の栄養補給に、妊娠産褥授乳時に、疲労の恢復と防止に、食慾不振、便秘に、乳幼兒の栄養に

〔包 裝〕
 (木) 30錠 ¥ 1.30 150錠 ¥ 5.40
 (鐵) 60錠 ¥ 1.30 100錠 ¥ 2.15
 — 増價を除く —
 その他、液、エキス、注射液各種

ビタミンB 剤 オリザニン

東京府日本橋區墨町 三共株式会社
 台北市長町 台灣三共株式会社

れば、その餘剰部分は直接軍需並に生産擴充事業の強大に寄與することになるのである。

從來帝國の纖維資源として誇り得るものには生絲があつたが、その他には餘り見るべきものはなく、棉花、羊毛、バルブ、麻等何れも自給自足は愚か、其の大部分を外國に依存してゐたのであつた。只之に加工し、綿絲、綿織物、人造織物製品とする工業は世界屈指の發達を遂げ、絹と相應じ輸出の大宗として大きく國力増進の一翼を荷つてゐたのであつた。

事變前より支那事變の過程を経て、昨年十二月南方

作戦開始迄の纖維製品の需給事情は、概ね三段階に分けられ、この需給關係の變化に應じて纖維對策も亦變遷を辿つた。即ち、事變前

自由經濟時代に於ては纖維製品の輸出高は棉花、バルブ、羊毛等の原料輸入高の外に、國民が存分に消費をしても國際貸借上猶相當の受取勘定になつてゐたので纖維對策は極めて順調であつた。處が漸次ブロック經濟が進展し、特に帝國は支那事變の勃發を契機として軍需第一主義に經濟産業を重點化することになつた結果、第三國よりの輸入は軍需乃至生産擴充用資材以外は原則として之を認めない

内地では何故切符制を実施したか

事になつたのである。ただ幸ひ、纖維製品及其の原料たる棉花、羊毛は事變前より相當多量のストックがあり、又國民個々の衣料手持品も諸外國に較べれば遙に多量であるため、左程困窮せずに来たことは大きな強味であつた。

そして歴史の日、昭和十六年十二月八日を迎へたこの榮光の日は、同時に纖維政策の終局轉換宣言の日でもあつた。即ち原料、製品双方に互り本來第三國依存の度合の最も強かつた關係を一舉に放擲し、從來の交易關係に完全なる休止符が打たれた譯である。

内地では一月二十日點數式綜合衣料切符制を採用、二月一日より國民衣料の殆ど全部は切符と引換でなければ賣出ることになつた。その趣旨は前述せる當面の纖維事情に徴し、限られた東亞共榮圈の纖維資源を軍需及生産擴充用資材とするの外、重點的に生活必需衣料品を優先確保することを計り、その用途に眞に適合した纖維製品の合理的な製造を圖り、眞に當該衣料品を必要とする需要の向に對し、圓滑に公平に、

而して迅速に配給せんとするに在る。即ち結果として國民の衣料生活面に強度の消費規正を要請し、その代り今後國民衣料の生産計畫を樹立し、國民の最低限度の生活を保證せんとするものである。

臺灣は何故切符制を実施せぬか

衣料切符制は結果的に纖維製品の規格や銘柄を縮少し、國民の衣料品に對する購買態様を平均化、單一化するものであるが、然し又切符制實施の前提として、概ね國民間の衣料の様式乃至消費態様が極端に懸隔差

異のない消費事情が必要である。この點に就て日本は衣料切符制を既に實施してゐるドイツ、伊太利、英國に較べ、非常に困難を伴ふのであるが、臺灣に於ては更に内地と同日の談でなく遙に複雑を極めるのである。即ち島民間の衣料生活の様式に著しき差異があり、速に之を平均化することは不可能であること、

竝に、本島農家生活調査に徴するも一人年衣料消費額十圓内外と目さるゝ程の低額である爲、それに對應する一人當總點數を決定すれば、綜合切符制の妙味たる購入選定の自由と云ふことは殆ど意味をなさなくな

切符制を実施せずして對策をどうするか

り、切符制による消費の規正は到底期待出来ないのである。臺灣と共に他外地が本制度を實施しない理由も主として茲にあると思はれる。

切符制を實施しなくとも、纖維對策を一切放任することは瞬時にも許されない。臺灣に於ては衣料切符制とは別途に内外地計畫經濟一貫の本旨に則り、纖維製品の處理に當る方針である。茲に余談乍ら往々聞き及ぶ話に、切符を實施せざ

れば、臺灣に衣料品が流れ来ないのでないかとの誤解は、臺灣を外國か占領地域かに見誤る類である。内外地の物動計畫設定に當り、臺灣の地位は既に確然と認められてゐるのである。それ故、寧ろ留意すべきことは、内外地の計畫的配分を紊り、又は内地の切符制を破壊すること、なる衣料品の内地逆送を固く慎むことである。

切符制に代る臺灣の施策として主なるものは次の通りである。即ち先づ本島消費量の五分の一を賜ふ島内製造は、生活必需衣料に重點を置くこと、第二に内地よりの移入衣料に關しては

島内業者の發註前、それが臺灣としての適正需要に適合せるものなりや否やを檢討し、内地に對し、生産指定をすること。第三には島内配給機構の全面的刷新であり、これは近く細目の決定を見る段取にある。兎も角臺灣としても、消費と脱み合せた生産の指定強化並に配給方法の合理化を期することになり、島民の最低衣料生活は十分確保せらるゝ措置が購せられる譯である。

今後の見通はさうか

大東亞戦争の戦果によ

り、漢洲の羊毛、印度の棉花が今にもすぐ我々の衣料となるとの樂觀はならぬ。支那大陸に於ける經濟的裏打に如何に根強い力を要しつゝあるかに思ひを致せば、當分は共榮圈内に於て營々纖維資源の増産に力を致し、貧しい乍ら圈内での自給自足の目標を定めねばならぬ。殊に大東亞建設のため、日本は共榮圈貿易收支の均衡と、共榮圈民族の生活手段確保のため、一層纖維製品の最高能率生産を進めねばならぬのである。政府は棉花及麻類の増産計畫、生絲の國內向使用轉換、人絹スフの品質向上を着々實行中であるが、之が成果

前線將士の勞苦を忍び、衣料生活の反省へ

第一次歐洲大戰の末期、

は藉すに可なりの日時を以てしなればならない。明るい大きな希望が目の前にある。が今暫くの辛抱をすべき秋である。特に臺灣は何としても氣候風土の上から、内地に比較して我慢のし易い所である。最近は多少船腹の都合や内地配給機構の切替のため、衣料品の入荷が遅れることもあるが、生活維持に支障が起る様なことは絶対ないのである。

ドイツが紙の衣料品を使用したことは人の知る所であるが、そのにがい經驗に鑑み、今度は戦争勃發と共に切符制による思ひ切つた消費の規正を斷行した。伊太利も同様である。又屬領に漢洲羊毛、印度棉を持つ英國ですら昨年からの之を實施し、何れも段々規正度を高めてゐる有様である。アメリカ婦人が日本より生絲の輸出が杜絶して大騒ぎを演じ、買溜に狂奔したことは外電の報ずる所である。最初に述べた通り、従後國民生活は直に前線武力に繋るのである。思を茲に致せば、衣料品に對する婦人の任務は特に重大である。

先般の増税前日の買溜の殺到は醜體の限りであつたが、内地に於ける衣料切符制實施日より一箇月間の臺北市某地區に於ける小賣商敷店に就て調べた結果は、

昨年の二倍の賣行を示してゐる。曠に買溜の事實を物語るものである。かうした日常の態度である者に、出征勇士の歡送や皇軍慰問に魂の入る道理がない。こんな話がある。先般の増税直前の東京の話。ある百貨店で盟邦ドイツ婦人が殺到する客をいぶかり、賣子に理由を訊ね、戦費調達のため増税が近くあると知らされるや「それでは増税された後で御買ひ致します」と告

げ去つたと云ふ話である。前線に於ては世界無比の忠誠なる働きをする日本人である。その

純一の行動精神の誇りを些末な日常生活に浸み込ませる思念を切る望み度い。それは同時に今盛んに主唱される生活の簡易化計畫となる。虚榮は衣料に於て最も強い。美しさが常に簡素の中にあることは

日本三千年の歴史の訓ふる所であるから、我々は此の秋思ひを前線將士の勞苦に

致し、衣料生活の反省と消費の規正に一段と努力しなければならぬ。

V・A・B・C・D 協力榮養劑

コンビター

長い体を造れ!



★コンビターは、肝油(V・A・D)とV・B・Cとを綜合一丸した新發明で、そのA・D分は普通肝油の五十倍以上の高單位です。

【毎日】大人 十粒 小児 五粒

東京元一 荻川長太郎合名會社

VITAMIN A+B+C+D=COMVITA

防空

國民防空の統制強化

防空法施行規則の改正 防空従事者扶助規則の制定

内務局
防空課

わが皇軍があらゆる困難を排して、海陸空に空前の戦果を収めつつある秋、われわれ六百萬國民はわが國土防衛の戰士として、南進基地としての本島を空の恐威より護り貫くことこそ國民各自の當然の義務でなければならぬ。そのため昨年十二月、防空法及び防空法臺灣施行令が改正され、既に施行されてあるが、今回更にこれ等に基き施行規則、官廳防空規則の改正と共に、新に防空従事者扶助規則が制定實施されることになったのである。

その趣旨とするところはあくまでも國民の自發的防空であり、國民の防空従事義務については國民各自の自衛心と愛國心に基く自發的活動を期待してゐるのである。

防空法の改正に際しては、過日内務局長談が發表されたが、以下改正防空法、同施行規則及防空従事者扶助規則に關して、一般島民に直接關係の深い事項を選んで、其の概要を述べることにする。

第一の改正要點は防空範圍の擴張である

従來は防空の範圍は燈火管制、消防、防毒、避難、救護と此等に必要な監視、通

場合に此れを應急的に修理し、其の機能を回復することである。

尙新に音響管制の規定が追加され、地方長官に於て監視とか警報傳達に障礙のある標な音響を發する設備、裝置の使用を禁止、制限することになったのである。此れに違反した場合は六月以下の懲役又は五百圓以下の罰金に處せられる。

第二の改正要點は防火の強化である

防火に付ては、先づ考へなければならぬことは木造建物である。殊に都市防空に關しては、此れが最弱點として擧げられてゐる。重要都市に於ける木造建物を、全部不燃質物に改造することは、大體に於て不可能に近い。それで木造建物を燃え難いものにする所謂防火改修が重要となるのである。

今回の改正防空法では、既存の木造建物

信、警報等であつたが、改正法では更に偽裝、防火、防弾、應急復舊の四つが追加され、以上の事項に就いても防空法の諸規定が全面的に適用されることになった。此の追加された空防手段に關しては、別に説明を要する迄もないのであるが、偽裝とは空襲の目的になる様な重要施設物件の明度、形態、色彩を變へて周囲のものに類似させ、敵機から發見されない様にするのである。

防空は火災發生後に此れを鎮壓する消防に對するものであるが、火災を未然に防止し、又は火災の擴大を防止する爲の豫防的措置であつて、木造建築物、防火改修、奉公班の家庭自家應急防火等が其れである。防弾は人體や物件が爆弾の直撃や破片、爆風によつて損傷を蒙らない様にするもので、防空壕、防弾壁、屋根板補強等が其の例である。

應急復舊は瓦斯、電氣、水道、交通機關等の重要施設物件が、空襲の爲破壊された

の所有者に對して、地區場所、方法、期間を指定し、防火改修を命じ得ることになり、又受命者が之を履行しない場合は、市街庄長が代つて防火改修工事を爲すことになった。此の市街庄長は防火改修義務者の費用に於て代執行するのである。

防火の強化に付ては、建物の防火改修の外に、民防空の趣旨により、自衛的な應急防火の義務が規定された。機銃彈落下の際に各自が自分の家を護らんが爲である。此の爲に防空法は二段構に分つて規定してゐる。

第一は事前退去の禁止又は制限であり、第二は應急防火の義務である。

民防空の骨子とする所は、言ふ迄もなく各自が各自の手で自分の都市なり家なりを空襲より護ることである。それ故空襲の危険あるとき、事前に全部避難することは、此の目的から言つて其の趣旨に反する。此れを防止する爲に、臺灣總督は事情に應じて一定の區域を指定し、其處に居住する者

が事前に退去することを禁止又は制限することが出来ることになつてゐる。但し國民学校の初等科児童又は年齢十二歳未満の者、妊婦、産婦、褥婦、年齢六十五年以上の者、傷病者、不具障疾者等防空の實施に従事することの出来ない者や、又此等の者の必要最少限度の保護者は退去の禁止、制限から除かれてゐる。此の禁止に違反した者は、六月以下の懲役又は五百圓以下の罰金に處せられる。自分の家は自分の手で言ふことが實行されなければならぬ。

事前の退去禁止とは異なるが、防空實施に際し必要なときは、事態に應じ鐵道とか自動車、船舶、航空機等交通機關に依つて住民が移動したり物を運ぶことを禁止、制限することも出来ることになつてゐる。此れは空襲時の混乱防止の爲である。

次に第二の手段は、自衛防火の義務である。建築物等に焼夷弾が落下し、火災の危険が生じた場合は、その建築物の所有者、管理者、居住者は勿論其の建築物内に勤務

就業、修業してゐる者で、其の現場に居る者は所謂應急防火の義務がある。自分の建物でないと言つて、見物することは許されないものである。右の者は第一次の應急防火の義務者で、此の義務を怠つた場合には五百圓以下の罰金に處せられる。國民として當然の義務を明定したのであつて、罰則の輕重は問題とすべきではない。

次に右以外の者で、その現場附近に居る者も亦應急防火の義務がある。此れは第二次の義務者であつて、其の建築物の近接居住者(奉公班員)、一時滞在者、顧客、來訪者、通行人等が該當する。此等の者は其の火災の危険が生じた現場附近に居る場合は、前述の第一次の義務者の應急防火に協力すべき義務がある。此の違反に對しては罰則はないが、自衛防火と言ふ點より見て罰則の有無に拘らず従事すべきである。此處に於て火事見物の如きは絶対に許されないことになつた。

第三の改正要點は建築物、物件の分散である

防空上重要なものとか、又は災害誘發性の多い建築物や物件を分散して置くと言ふことは、防空上の常識でもあり、又基本原則でもある。此れは都市計畫の施行の場合も、必ず考慮されるべきものであるが、改正防空法では積極的に法制化したのである。即ち各種の危険物品を貯蔵、處理、製造する一定規模以上の工場を許可制とし、重要地域に於ける此等の建築物の分散疎開を計ることになつた。即ち前者に屬する建築物としては、建築面積三十平方メートル以上同一敷地内の建築面積の合計二百平方メートル以上のもは新築、改築、増築又は移轉を爲すには許可を要することになつた。又臺灣總督の指定した一定の區域内に於ては、建築面積合計二千平方メートルを超過する工場、常時合計二百馬力を超過する原動機馬力を使

用する工場は、新築、増築に付いて地方長官の許可を受けることになつた。而も更に臺灣總督は右の區域内に於て特別區域を指定し、その區域に於ては建築面積の合計六百平方メートルを超過する工場、常時合計五十馬力を超過する原動機馬力を使用する工場にも前述の許可を要することになつた。

防空上の見地から、建築物の分散の外に物件の移轉もなされることになつた。爆發性、發火性、引火性の物品、食糧、燃料其の他重要な總動員物資は、之を分散貯蔵して置くことになるのである。

此の義務違反に對しては、六月以下の懲役又は五百圓以下の罰金に處せられることになつてゐる。

第四の改正要點は防空従事者の強化である

防空實施時に於て、防空勤務員其の他防空従事者等の人的組織を整備して置くこと

朝日上海火災

本 店 大 阪 北 濱
 長 會 役 締 取
 長 社 役 締 取
 一 五 町 山 樺 市 北 台 部 支 北 台

は、絶対に必要であることは云ふ迄もないことである。

改正防空法は、先づ防空監視員を豫め指定し、監視隊として編成訓練し、防空の實施に従事せしむる様になつてゐるが、我が臺灣には防空監視隊關係の規則は制定されていない。

併し監視に従事せしむる爲に、地方長官が命令を出し得るし、此の従事義務違反に對しては罰則の規定がある。一年以下の懲役又は一千圓以下の罰金である。尙監視従事者に對しては待遇も考慮される。

次に地方長官、郡守、警察署長、市街庄長のなす防空の實施に従事せしむる必要あるものとして、特殊技能者以外に防空に關し特別の教育訓練を受けた者を従事させ得ることになつた。特殊技能者は従来より範圍が廣くなり、産婆が追加され、又地方長官が技能を有すと認めた者、例之大工、左官の職業に従事する者等も、特殊技能者として指定し得る様になつた。

は、絶対に必要であることは云ふ迄もないことである。

特別の教育訓練を受けた者としては、防衛團員、消防組員、壯丁團員、學徒奉公隊員等が考へられる。

此等の者を防空の實施に従事せしむる場合は、監視の場合は指定書、其の場合には従事令書を地方長官より交付するのであるが、それは國民徴用の場合の徴用令書と似てゐるのである。指定書、従事令書は本人の住所、職業、身體の状態、家庭の状況等を斟酌して之を交付することになつてゐる。

尙防空教育の重要性に基き、防空計畫の設置者は、防空の實施に従事すべき者に必要な講習を受けさせることが出来る。

以上の様に防空の實施に従事する防空勤務員と、自家應急防火従事者の従事義務が強化されたのであるが、一方此等の防空従事者が、防空の實施に従事して傷病を受けたり、疾病に罹つたり、又は死亡したりした場合に、國家、公共團體等に於て扶助金を支給することになつた。

新に制定された防空従事者扶助規則では、此の扶助金を療養費、障害扶助金、打切扶助金、遺族扶助金及葬祭費の五種類としてゐる。

此の趣旨は、防空従事者が身命を竭つて國土防衛に當つて、或は蒙ることあるべき傷病、疾病の療養等に後顧の憂のない様に、又其の遺族を扶助しようとするものである。

特殊技能者又は、特別教育訓練を受けた者として、従事令書を受けた者や監視に従事する者は勿論、防衛團員、壯丁團員等も防空に従事した者は扶助を受けるのである。又所謂自家應急防火に従事した者が、傷病を受け疾病に罹り、或は死亡した時も同様に扶助金が支給される。

自家應急防火の従事者に對する扶助金は、當該市街中で支給し、特別防空計畫設置者の許に従事した者にはその計畫設置者に於て支給するが、その以外は全部地方長官(國庫)で支給することになつてゐる。

地方長官の支給する扶助金の額は左の通である

- 一 療養費 實 費
 - 二 障害扶助金(傷病の治癒後尙身體に障害を有する者に支給する)
 - 1 終身自用を辨ずること能はざる者に對し 最高一、五〇〇圓
 - 2 終身業務に服すること能はざる者に對し 最高一、〇〇〇圓
 - 3 其の他身體に著しい障害を存する者又は外貌に醜痕を残した女子に對し 最高 七〇〇圓
 - 三 打切扶助金(療養の期間が一年を経過しても傷癒の治癒しない者に支給する) 最高一、五〇〇圓
 - 四 遺族扶助金 最高一、〇〇〇圓
 - 五 葬祭費 一〇〇圓
- 防空法第三條第一項の特別防空計畫設置者、換言すれば大工場、事業場等に於て、

其の防空の實施に従事した場合、右の金額の以内で地方長官の認可を受けて支給することになつてゐる。此れに對しては二分の一以内の國庫補助がある。

- 自家應急防火、即ち家庭防火とか奉公班の防空活動に従事した場合の市街庄長の支給する扶助金は、左の範圍内で地方長官の認可を受けて定めた金額である。此れに對しても二分の一以内の國庫補助がある。
- 一 療養費 實 費
- 二 障害扶助金
 - 1 終身自用を辨ずること能はざる者に對し 最高一、〇〇〇圓
 - 2 終身業務に服すること能はざる者に對し 最高 七〇〇圓
 - 3 其の他身體に著しい障害を存する者又は外貌に醜痕を残した女子に對し 最高 五〇〇圓
- 三 打切扶助金 最高一、〇〇〇圓
- 四 遺族扶助金 最高 七〇〇圓
- 五 葬祭費 七〇圓

右の如く扶助金の制度が確立され、その多くは國庫の負擔となつた。此れ防空活動の國家性に基くものであらう。

尙此の扶助金を受ける者が、他より此れと同種の給與を受けるときは、其の金額を考慮して支給されることである。

第一線に活躍する皇軍の勇士を思ふとき、扶助金の多寡は問題とすべきでないことは勿論である。國家がその重要性を認め、それに因る傷病、疾病等に對し、扶助すると云ふ所に重要な意味があるのである。

臺灣總督府
情報課編纂 (A5判四三二頁)
定價一・五〇圓

臺灣事情

昭和十七年版發賣

臺灣總督府內
臺灣時報發行所



銃とらぬ身も勇躍現地へ！
本島女性のけげな赤誠

文・楊氏千鶴
寫眞・松山慶三

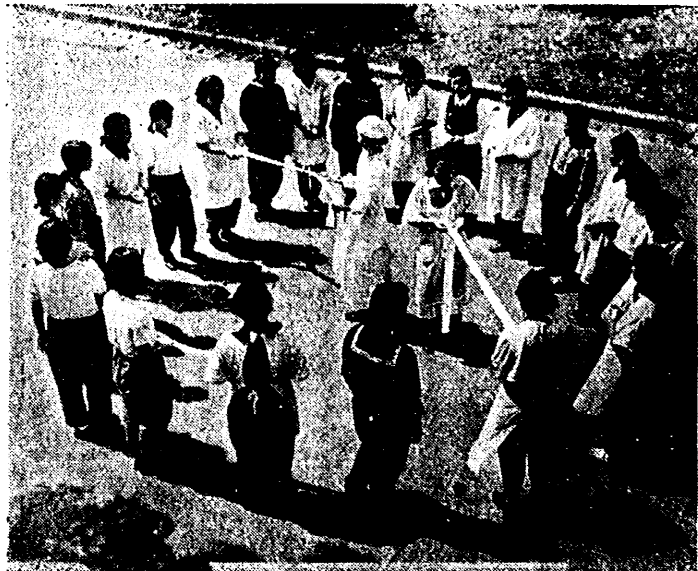
看護助手教養所訪問

かよはい女ながら、身は 陛下の御楯、銃執れぬ身はせめて皇軍傷病兵の看護にあたりたいと、志願兵にわきたつ本島に、本島人女性の捧げるけげな赤誠は、現地陸軍病院派遣の氣運をうながし、こゝに全島幾萬の女性より選ばれた二百名が、盡忠報國の決意もあらたに、去日看護助手として輝かしい壯途についた。

(編輯部)

宏壯な病院を背景に、白 受け、まぶしい美しさと一 烏の集りがあつた陽ざしを しよに私の目に入つた。そ れが私達臺灣女性の意氣と誇りを全身に擔つた看護婦

助手の野外訓練である。今朝、私は情報課から其の訓練生活を見學して來ないかとの電話を受け、大きな決意の下に集つた自分と同じ年頃の娘等の團體訓練を、かねて知りたかと思つてゐた矢先きなので、早速乗りこんだのであるが、モンベに割烹服のいでたちは、何だかひどく自分の氣負つてゐたものところが、つてゐるやうに思へた。私は偶



婦長さんを中心で绷帯巻きの實習

像化してゐた概念をぬい お話をして見たいといふ氣で、心の奥底から彼女達と 持にかられ、先づ直接指導

にあたつてゐられる指導者の方々から感想と説明を伺ふことにした。

御國の爲にわたしも起上つた千三百人の中から選ばれた彼女等五十五名は、四十八名の大多数が女學校卒業者で、その中に今年學校を巣立つたばかりのものが半数を占め、平均年齢十八歳、彼女等の元氣一ぱいな若さと、溢れるばかりのやみがたい熱情は、すべての訓練、實習に、今まで定評のある臺灣女性の「消極的でむやみに遠慮する、悪癖を一掃して、進取的な眞剣な態度で臨み、病院長殿をはじめとして各教官、關係者から、今までに

ない良成績で教へ甲斐があると感激され、お互が一つのものに全力を注ぎ合つてゐる。

こゝでの訓練は今までの講習會とちがつて、院内での言語、動作はすべて軍隊式に行はれ、「教官殿」、「室長殿」、「申告」の語が自然な感じを持たないで彼女等の口について出る。少長の禮は徹底的に厳守されてゐるが、これは彼女等が一年間の任務を終へた後部落の中堅婦人として活躍する時の大きな基礎となることであらう。臨床上の實習も、各科に互つて先輩の看護婦に見習つてゐるが、しかし、眞の目的は看護助手

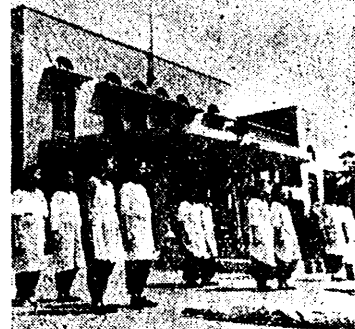


習 質 の き 巻 帯 纏

になることではない。又病人の附添ひになることでもない。それはあくまでも救養ある臺灣婦人をつくることとでなくてはならない。戦争は——時代は——、臺灣の女性自身が、又それ

二月二十五日に入所した彼女たちは、訓練を終へるや、海をへだてた、戦ひのあと生々しい現地に旅立とうとしてゐる。それまでのいそがしい一箇月間の訓練日課は、何れ程彼女等をき

たへるであらうか。日課表をみつめる私は或る感動にふるへる。
起床 午前六時
「起床!!」教官殿の號令一せい、ガバとはね起き、六時半の朝禮までに、點呼、清掃、洗面、整容をやつてのけるのである。はじめは目が廻るやうなてんでこまひを演じたさうであるが、それでも毛布のたゝみ方一つにも氣を配り、押入れの中はいつ開けよといはれても、きちんと取りかたづけられてゐる。
「たいへんですね。短かい時間にこれだけのお仕事をするのは。」
後刻彼女達の部室を訪れ



練 訓 架 擔 、 捷 敏 も 作 動

る機会にめぐまれた私は目をまるくしておどろいたら「まごころ一つで何でも出来ないことはありません」あまりに氣負つたその言葉に、お部屋の人も私も笑つた。しかし笑ひごとではない、こゝにも統一された精神があるのではなからうか。

朝禮 午前六時半
「油の多い在來の料理から、一足飛びに油氣のない

一品料理の粗食で、はじめの中はたいへんだつたでせう。
きれいに食べつくして入れものを洗つてゐた人にかよつて聞いてみたら、
「もう馴れました。」
何かはねかへるやうな弾力をもつた微笑でその人は私にこたへた。
心身共はげしい訓練を受

けた後の、發育旺盛な彼女等に、現在の御飯の量はお腹を充たさないらしいが、それでも先輩の方達のやつて來たことが私達に出來ない筈はないと力んで、このごろはなれた故か却つて太つた位ですと言つた人もゐた。
實習 午前九時
此の時間に病院長殿の講



上に外科手術室にて 下に薬室にて

話や各教授方の講義、教練があり、又臨床上の實務練習にもたづさはり、仲々寸暇も惜しい働きぶりである。

擔架訓練

番號!! 「イチツ。」 「ニイツ。」 はつきりすきとほつた聲であるが、力強い聲が底にこもつてゐる。三月にして、はあつすぎる太陽を真上に受けて立つてゐる彼女等の

刺繍服の裾を微風がハタ／＼させてゐるが、きりつと髪を後に束ねた眞摺な顔は微動もしないで一點をみつめてゐる。足の踏み方一つ、番號のかけ方一つに崇高な決意のあらはれを見る

ことが出来る。前日習つたばかりといふ擔架運びに號令一つで機敏な動作がつゞげられ、垂平に肩にかついで直立不動をする彼女らの胸は何に燃えてゐるのだらうか、戦地で傷ついたものはものゝ上に、又は白衣に包まれ、ひたすら病のみとりに捧げる自分の姿に。いや、彼女達はきつと何も考へないで、その日その時の訓練課目に全身を打ちこむのに餘念がないのちがひがない。自分の進むべき道が開かれ、それが最も正しいことであると信じてゐる彼女等であるのだから。

繙帯巻き實習

同僚の臨時仕立の患者の頭に、或は腕に、繙帯をまきつける此の練習は、任地に行けば直ぐ必要な技能で

あるが、まだなれないそのときは、彼女らがまだ入所後間もないものであるといふことを思ひ出させる。「あついわよ。」



樂し食の事の時間

「ターパンのやうにまかれてゐる方が、一刻もぢつとしてゐられないたづら盛りの子供のやうな聲でこぼす。あまりにもはりつめた氣持の中から、女學生氣分の延長でもあるやうな、なごやかさを見つけて私はなぜかホツとした。若い娘さんがムダロ一つ聞かないでゐるのを見るのは、私自身が若い娘だからであらうが、何となく肩がこつて物足らなかつたのである。

藥劑室にて

臨時仕込みのこの可憐な藥劑師たちは、簡単な藥の調合から手際よく藥袋を包むことまで習得しなければならぬ。おや、それでは大變な藥を飲まされやしないかと驚かれては困る。女學校時代の化學知識が、病院の先生方の講義を聴くのに役立つ。非常に馴れた手付きで藥袋を包む人が居たが、彼女等の中に四人も居る看護婦免許状を取つたうちの一人ではないかしらと私は感心しながら見てゐた。

實務練習の中、外科手術の立ち合ひが最も張り合ひがあり、それでも初めの馴れない中はヒヤツとしたり、メスをあてられる人が可哀相になつたり、仲々落着けなかつたけれど、その

中にも神聖な醫學を、強い理性で處理される醫學を感じ、その身も心も張りつめた瞬間が忘れられないのである。殊に感情的に走りやすい自分達にはよい修養だと思つてゐる。これは翌日彼女達と少し打ち解けた時にきかされたことであるが――、總じて彼女の言葉は在來の名残りを消したきれいなアクセントでハキ／＼してゐた。

講義室

ノートに筆記する他、看護兵教程、衛生法及び救急法、修養行事の葉等が與へられた教科書のやうであつた。はげしい肉體訓練の後

に長い講義がつゞいたりしたら、睡氣に誘はれはしまいか、そしてつひ一月前の女學校生活が髣髴するのではないかと、先生の來られるまでの寸暇を机に向つて手紙を書いたり、うつ伏せになつたりしてゐる彼女等の後から私はこんな想像をしてゐた。

入浴、夕食 午後五時 此の時間に面會が許され、喜々とした笑聲が一日の任務を終へた彼女達の口からとび出るであらう。自律的な訓練の尊さを、日毎に身にしみて感じる彼女等ではあるが、やはりまだ若い娘さんであつてみれば、奥にしまはれた諧謔や感傷

消燈 午後十時 このやうに多忙な一日を送つた彼女等は身も心も鍛へられ、やがてやすらかないこひを求めて、夢も見ないで、ぐつすり眠ることであらう。睡眠八時間は彼女達の馴れない過勞に疲れた身體を充分いやし、明日への澆刺とした元氣を與へることであらう。

生活に女學生時代にかへつたやうな氣がし、又規律正しい中に樂しさを見出すことが出来るやうになつた。制服をつけられる日が待ち遠しく、篤志看護婦の黒い外出着を見ては、自分達の制服はどんなのかしらと話し合ひ、今からたのしみにしてゐる。

女學校時代の寄宿生活に馴れてゐる故か、別に苦にならないが、今まで學校では兒童から頭をさげられる方だつたのが、此處ではあべこべに一々敬禮をしなくてはならないので、初めのうちは變な氣がした。

のみこんだ苦しさ、不寝番をいひつけられて悲しくて涙も出なかつた等々、彼女等の句調はまだ女學生のほひにみち／＼してゐた。困苦缺乏に堪へられるやうに心掛け、一日も早く現地に立つて白衣の勇士をおなぐさめたい氣持で一ぱいだと、健氣に語り、臺灣女性の意氣を大いに上げて頼もしい限りであつた。

出席することを約して辭し去つたのである。

○

「臺灣軍の歌」のメロデーが一班三室の富永さん達の即製救護班の歌となつて飛び出したり、今夜だけは、臨時の州の教育課長さんも教官殿もうちくつろいで皆の十日間の訓練生活の感想發表に耳をかたむけ、すばらしいかくし藝にみとれたり、まことに地久節を壽ぐにふさはしい楽しい夜であつた。ピアノ、獨舞、舞踊、合唱等。しかしこれらの諸藝は花を添へる意味で、今夜の主題は皆の感想發表を聞くことであつた。

「あわたゞしい中に入所したが、しばらく振りの團體

と陳氏秋子さんが最初に述べ、つゞいて國民學校の教師をしてゐた張氏月英さんが立つて、

「職業につくのも國にづく心にかはりはないが、自分分は戦地での經驗によつて、教育に對するやり方より一層充實したものになりたい。こゝでの合宿訓練は、

彼女等がその夜歌つた「愛國の花」の一節を記して此の文を結ぶ事にした。



臺中州彰化郡福興庄に 増産戦士謝慶氏を訪ふ

鹿港から海岸づたひに南へ四軒、開墾されてまだ新しい廣袤たる耕地の中の一本道、嬉しい取入れを終へて甘蔗を山と積んだ牛車を通る。防風林の若い木麻黄の並木は、臺灣海峡から吹きつける潮風にいためつけながらも、にがい春日をあびて風にそよいてゐる。竹笠をかぶつた若い女たちも、男にまじつてかひがひしく鉞を振つてゐる。この地域一帯こそは、増産進軍の第一線に立つて、耕地としてはおよそ最悪の條件にある區分を含んだ砂地、海峡から吹きつける強烈な潮風、そして颱風期になれば、一朝にして田野を洗ひ流してしまふ大洪水、これ等大自然の猛威と闘ひながら、ほぼ五百甲歩に近い墾分地帯を農作物の沃野と化した増産戦士、謝慶氏のいとむ新開墾地福興農場である。

土とたたかふ 苦闘の半生

望樓のある農場事務所の一

室、その経営者謝慶氏は本年五十二歳、散切頭、國防服のズボンをまくり上げ、跣足のまま、土と闘ひながら開墾にたづさへつて来た苦闘の半生を追憶する

のであつた。

◇……思ひ出せば今から三十年前、明治四十三年、私は二十歳の年に、鹿港の近くの頂番婆と云ふ部落で雜貨商をいとむむかたはら、ほそぼそと染料、澱粉の製造をしてをりました。ついで大正のはじめ、この仕事を一應打切り、落花生油の製造に手をつけ、そのかたはら雜穀商を営みました。ところが根が土育ちの私は、まだ年も若く、血氣にはやつてゐたので、家中にじつとしてゐることが出来ない。廣大な土地を擁してここに理想的な農業を經營し、ともすると舊態依然として積極的な熱意を缺きがちな在來農業の悪習を打破したいと考へたのでした。しかしさうするには私の資力はあまりにも乏しすぎる。と

うとう米穀の輸入、移出業に手を出すと共に、一方鹿港の廖厝、查某貝、溝墘、顏厝等、八十五甲歩の荒地に目をつけ、この開墾をはじめました。今でこそ立派な耕地になつてをります。が、當時と云へば凹凸のほげしい未開發地で、誰も手をつけるものがなかつた。それで、この中俥かな土地のみ私の所有でありましたが、他の地主は厄介な土地の處分が出来て安心だばかり、喜んで提供してくれませんでした。さて努力問題になるのですが、この邊の部落は人口過剰、それに民情も温和なので、指圖通りによく働いてくれたので、豫定どほり甘蔗と水稻を作り出した。ただ灌溉用の水には多少困りましたが、それにしても非常な成功をしました。これが私

にとつては思ひ出深い開墾事業の第一歩でした。ついで大正十二年、水利組合が二十四萬圓の豫算で、頂番婆頭掛俥をつくることになりました。が、丁度關東震災のため銀行からは資金の借用が出来ず、折角の計畫も頓挫するのではないかと氣づかれました。しかしそのために約三千甲歩の土地が犠牲になつてしまふことは、何としてもしのびがたい。それに私は土地の開拓に非常な關心を寄せてゐたので、他の六、七名の有力者を説きおとし、合同出資の上で、施設工事を引受けることにしたので、ところが、技術拙劣なため、いよいよ本工事が出来上つて、いざ水を取入れる段になつて、八萬四千圓を注ぎこんだ大水管が一瞬にして

灌溉水不足を 見事克服して

◇……これまで最も苦心したのは臺南州北港郡口湖庄水井の開拓でした。僅か四十八甲歩の土地ではありますが、ここも

ひどい鹽分地帯で、作物を作るには根本的に土質から改良せねばならない。それに第一土地を遊ばせておくことがもつたない。

昭和四年、私は人夫監督二人をつれて出かけました。人里はなれた淋しいところで、ただ臺灣海峡の波と、猛烈にふきつける潮風の音とが聞えるばかり。

まづ水の心配です。灌溉水がなくて、砂地にしみこんでいる鹽分を洗ひ出すことは出来な

田ならば灌溉してゐるうちに鹽分がとれて行くのですから、それでよいのですが、はじめから畑地として耕作することは全然出来な

昭和四年、私は人夫監督二人をつれて出かけました。人里はなれた淋しいところで、ただ臺灣海峡の波と、猛烈にふきつける潮風の音とが聞えるばかり。

苦力監督と一しよに、三食は地面の上に食器を並べてとりました。努力をなんとかしておきたいと、とうとう私は郷里の

その結果は非常に良好でした。さて、灌溉対策ですが、はじめに二十尺あまりの深さの井戸を掘りましたが、水量が少い。

更に三十尺掘つてみたのですが、それでもやはり面白くない。色々工夫して、今度は穴の大きな井戸を掘ることを考へ、

一つ一つの井戸から漸く一分間一斗あまりの水量を得ることが出来ました。だが、井戸の数をふやせばふやす程水量は減つて行

くのです。その時こそは、もう萬策つきたた茫然としてうなだれたのでした。だが、ここで尻込みしたのでは折角のこれまでの苦心が水泡に歸する。心をむちうちながら、今度は二丈四尺

の距離に、四尺毎に一本づつ、計六本の井戸を掘り、原動機を掘つけて水を上げようとしたのですが、七・五馬力では何としても水が出ません。結局は井戸

かうして人知れぬ苦心を重ね、途中幾度か断念しようかと考へたのですが、三年目の昭和六年、遂に成功することが出来たのです。

半身海水に 浸り大防波 堤を構築

◇……かうして力を得た私は、更に昭和八年、彰化郡蘇西



庄の新港、泉州府、線西の一八二甲歩の鹽分地帯の開拓にとりかかりました。ここも海邊の砂地で、土壌には鹽分が多分に含まれてゐる。そればかりか、一刻も早く海岸に沿つて堤防を築かなければ、海水に耕地を浸さ



れるおそれと、颶風期にはあれおそろしい大洪水に見舞はれる心配があるので。先づ私は人夫を督勵して、半身海水にひたりながら作業をはじめました。折角土を積んでもすぐ波のため

の缺點は土地が非常に低い。それで何度つくりかへても少し海が荒れると、すぐ流されてしまふのです。そして後には、竹を中に入れて、大甲溪以南約一里半の間にわたつて大堤防を築いて見ました。しかしこれも昭和十二年の颶風で、あとかたもかくはされてしまつたのです。又やり直しです。今度は煉瓦を垣根の縁に積んで見ました。これもこはされました。結局は土を丹念に盛上げることが一ばん波の抵抗に強いと云ふことに気づき、中の芯の竹は長さ八尺、四尺五寸をうちこみ、やうやく五年目に堤防工事に成功しました。

幸ここは灌溉水の便がよく、それに附近の部落には人手が餘つてゐたので、堤防以外の仕事

は非常によくはかどりました。こゝは地下水が多いため甘蔗には向かないので、専ら水稻を作つてをります。

波と闘ひながら鹽分地帯を開墾

かうして氏が大正初年、土地改良に手をつけてから三十年、殊更に人のかへり見ない荒蕪地を、とても人力ではなし得ないとさへ思はれた鹽分地帯の開墾に魂を打ちこみ、幾度かの失敗にも力を失ふことなく、私財を投げうつて、文字通り粒々辛苦、涙くましい努力をつつ

けて来たかいはあつて、氏の手がけた荒蕪地は、一つとして成功しないものはなかつたのであ

る。今全島あげて荒地開墾、戦時食糧の増産が叫ばれてゐる時、早くも三十年前より黙々として幾多の悪条件を克服し、食糧増産に挺身しつゝある土の戦士のあることを思ふ時、誰か感激せざるものがあらうか。更に氏は語るのであつた。

◇……さて現在私が最も心血を注いでゐるのはこの福興庄で、かつてこの土地は某製糖會社が十數萬圓の費用を投じたが、開墾に失敗した鹽分地帯ですが、私はこれまでの経験によつて確固たる自信を持つに至つたので、昭和九年十二月、開墾を決心しました。

當時は草一本生じない砂地、土地の高低がはなはだしく、風の強い日は眼鏡を使はねばならない程、砂ぼこりが強かつたの

です。私は先づ人夫多數を雇ひ、防波堤の築造に取りかかりました。防波堤は大肚溪南岸を起點とし、鹿港街福興庄まで延長六里、底邊の幅は十三間、頂面の幅は九尺、上には芝、木麻董、荖等を植ゑ、數年來手入を續け、最近完成を見ました。

防風林は農場の中央を通つて海岸に至る道路の兩側と、田圃の畦に木麻董五十萬本を植ゑ、その他、水路の堤防には、堤防の補強と防風の役割をかねて刺竹を植ゑることにしました。

いよいよ開墾をはじめると、毎日この附近の部落の者は六七百人も、朝夕は號鑼列をなして往復し、まるで芝居でも見に行か様なきわきで、その努力は我ながら涙ぐましくなつて來るのです。夜は小屋泊りの人夫のた

めに、鹿港から講古師を招き、軍談などを語らせて彼等を慰安しました。土壌の中にしろこんでゐる鹽分を流ひ落すためには、少くとも四五回は鋤起したり、水を流したりして、甘露や水稻を植ゑても、不作の箇所が所々に出來たりして、そこを又鹽分を水で流して土地を改良するのです。

砂地の改良は自給堆肥を入れ改良しました。現在積んでゐる堆肥は二百萬近、八十甲分の田に施肥することが出來ます。

開墾當初の小作人は僅か二人でしたが、小作制度の改善、その他設備が整ふにつれて一時は百二十數戸にまで達しましたが、現在は九十四戸、人口五百人餘です。しかし中には意志の薄弱な者があつたりして、鹽分の

ために不作であつたり、防波堤が倒壊して田を流されたりすると、すつかりくじけてしまひ、こつそり夜逃げしてしまふ者もあつたりしたのです。しかし今ふみとどまつてゐる者は私の氣持をよく察してくれ、これから先どんな事があつても辛苦を共にしてくれることを確心してゐます。貧しいながら土とたたかふ喜びを感じてゐるのでせう。私もはじめは夜もろくに休まず、晝間田を見廻りながら睡魔におそはれ、目をとちたまま夢うつつに畦道のあるいたことがたび／＼ありました。小作人も夜はろくに休まれません。畦は砂地なので、灌溉してゐると、くずれてしまふ。すく氣をつけてみて土をもらねば作物が出來なくなるのです。

最近自作數十萬近の大根を加工して澤庵漬にしてゐます。これは私の息子が引受け、桶の自家製造、砂糖、ぬか等の材料入手難とたたかひながら、今では軍用として相當數量製造してをります。荒地を使用して薄荷草を植ゑ、薄荷油の自家製造もはじめましたが、これはまだ試作の程度を出てをりません。この他、家鴨、豚等家畜の飼育、黄麻、亞麻、蓖麻を栽培して軍需その他の方面に供給してをります。

小作人の慰安としては、舊正月も休ませずに働かせ、その日は工資を二倍にやつたり、勤勞者は彰化、臺中等に旅行させて競走心をあふり、土地改良に没頭したのです。かうして多年の苦勞がやうや

くむくひられようした時、昭和十五年の暴風雨は、三回にわたつて荒れくるひ、多年の努力の結晶を烏有に歸してしまひました。この時の被害が二十二萬圓、昨十六年第二期作の開花期には強風におそはれ、豫定どほりの收穫に至らず十萬圓の被害がありました。多年私と共に勞苦を分けて來た小作人たちに、少しでも豊かな思ひをさせるのはこれからと、農園の中に國民學校々舎を建てることなど考へてゐたのですが、それもまたしばらくは見合はさねばならぬことになりました。それでも私のこの福興農場に働いてゐる農民は、みな眞面目によく働いてくれます。私の三十年にあまる經驗をもつてすれば、何でもやつて出來

編輯部

時局解説

大東亞戦争の推移 (七)

軍國の華、至忠至誠の九軍神 大東亞共榮圈確立の基礎成る

課 報 情

嗚呼、櫻花と散れる九軍神

戦前、米英の軍事評論家は、口を揃へて「日本は到底、ハワイを攻撃するとは出来ない」と、腹の底から考へてゐた。ところが戦が始まるや否や、それを文字通り、一朝にして、米太平洋艦隊は、一擧主力艦九隻を失ひ、二度と日本

海軍に立ち向ふことが出来なくなつて了つた。この大戦劈頭の大戰果のおかげで、それから後の帝國の作戦が、どんなに有利に進んで行つたかは、爾後の相次ぐ、陸に海に空にと、凡ゆる方面に於ける戦捷を見ても明である。若しもこの米太平洋艦隊が、そのまゝに残つてゐたならば、又これ程の損害をうけてゐなかつたとしたら、我が軍は、これ程の大戰果を、こんな早くあげることは難しかつたであらう。それだけにこの米太平洋艦隊を覆滅させるためになされた帝國海軍の血のにじむ準備と覺悟の程が、現はれるのである。

果して、三月六日の海軍省發表によつて、この大戰果の裏に匿されてゐた、帝國海軍特殊潜航艇——特別攻撃隊の大活躍が、明にせられた。

戦の眞只中であつて、身を粉と砕くことはむしろ易しい。だが、數ヶ月も前から、死を覺悟し、死を撰んで、死の時機を待ち乍ら、而かも、死にまさる猛訓練

を重ねて行くことは、只ひたすらに、一身を大君に捧げまつらん、との至純の忠誠、一億國民の安危はかゝつてこの一身にあり、といふ大きな責任と愛國の眞心のみがよくするところである。自ら考へ出した武器を上官に申出で、自分で研究し、自分で作り上げ、そしてその成功すること確實なりの自信を得るまでに、訓練に訓練を重ねて来た數ヶ月。その間、自分のやつてゐる仕事は、腹を割つた友にも話さず、血を分けた親にも語

られず、只黙々と、烈々と燃えさかつた一念は、——敵撃滅！この信念のみであつたであらう。これこそ、帝國海軍傳統の精神を、最も清らかに、最も高く顯したものであつた。

全東印度の裁定完了

最年長といつても二十九才、最年少は二十才。未だ人生が始つたばかりといつてい、蒼の時機に、自ら身を挺めて、太平洋の眞唯中に櫻花と咲き、眞珠灣頭珠と砕けた九勇士の姿こそ、我國史の上に不滅の光を與へた軍神と云はなくて何であらう。

私達は、只感激の嗚咽を抑へて、遙にこの軍神九柱の至忠至誠を懐ふのみである。

- | | |
|--------|--------|
| 海軍大尉 | 廣尾 彰 |
| 海軍特務少尉 | 横山 薫 |
| 同 | 佐々木 直吉 |
| 海軍兵曹長 | 上田 定 |
| 同 | 片山 義雄 |
| 同 | 稲垣 清 |

米英蘭露の聯合擡き集め艦隊は、蘭印攻略の爲、南下しつゝあつた我輸送船團を護衛し、之を護衛する帝國艦隊に刃向つて來たが、二月二十七日より二十八日にかけてのストラバヤ沖海戦、又三月一日のバタバヤ沖海戦に於いて四分五

裂、一擧二十三隻を屠られて了ひ、ジャバ島東部、中部、西部と各方面に於いて必死の反撃を加へたが遂に及ばず、一日未明の我が陸軍部隊の強行上陸に追はれて奥地へと逃げて去つた。即ち皇軍は二日カリヂヤチ飛行場を、四日要衝アル

時局解説

を重ねて行くことは、只ひたすらに、一身を大君に捧げまつらん、との至純の忠誠、一億國民の安危はかゝつてこの一身にあり、といふ大きな責任と愛國の眞心のみがよくするところである。自ら考へ出した武器を上官に申出で、自分で研究し、自分で作り上げ、そしてその成功すること確實なりの自信を得るまでに、訓練に訓練を重ねて来た數ヶ月。その間、自分のやつてゐる仕事は、腹を割つた友にも話さず、血を分けた親にも語

られず、只黙々と、烈々と燃えさかつた一念は、——敵撃滅！この信念のみであつたであらう。これこそ、帝國海軍傳統の精神を、最も清らかに、最も高く顯したものであつた。

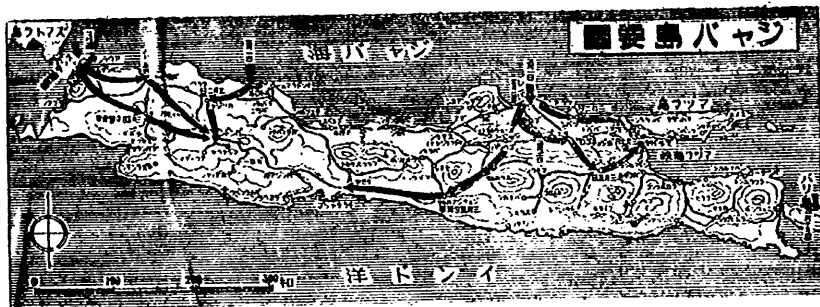
最年長といつても二十九才、最年少は二十才。未だ人生が始つたばかりといつてい、蒼の時機に、自ら身を挺めて、太平洋の眞唯中に櫻花と咲き、眞珠灣頭珠と砕けた九勇士の姿こそ、我國史の上に不滅の光を與へた軍神と云はなくて何であらう。

私達は、只感激の嗚咽を抑へて、遙にこの軍神九柱の至忠至誠を懐ふのみである。

- | | |
|--------|--------|
| 海軍大尉 | 廣尾 彰 |
| 海軍特務少尉 | 横山 薫 |
| 同 | 佐々木 直吉 |
| 海軍兵曹長 | 上田 定 |
| 同 | 片山 義雄 |
| 同 | 稲垣 清 |

米英蘭露の聯合擡き集め艦隊は、蘭印攻略の爲、南下しつゝあつた我輸送船團を護衛し、之を護衛する帝國艦隊に刃向つて來たが、二月二十七日より二十八日にかけてのストラバヤ沖海戦、又三月一日のバタバヤ沖海戦に於いて四分五

裂、一擧二十三隻を屠られて了ひ、ジャバ島東部、中部、西部と各方面に於いて必死の反撃を加へたが遂に及ばず、一日未明の我が陸軍部隊の強行上陸に追はれて奥地へと逃げて去つた。即ち皇軍は二日カリヂヤチ飛行場を、四日要衝アル



ワカルタを、五日には首都バタビヤを攻略し、七日午後十一時三十分かなはずと見た蘭印軍司令部は参謀を派して全面的停戦を願ひ出た。八日午後三時には蘭印總督スタルケンボルグ自ら來つて降伏を申出た。そして九日午後三時、蘭印軍九萬三千、米英海軍約五千がこゝに完全に我軍の前にひれ伏し、全面的無條件降伏が成立したのである。

上陸以來僅かに九日、一日平均の進撃速度は四十軒、世界的驚異の記録を残したのである。米英側がたのんだ對日包圍のA B C D線中、Dは完全に落ちて了ひ、こゝに大穴があいたのである。その爲、濠洲は、その支關先に我が皇軍の鋒を迎へることになり、やれ英國は援兵を送つてくれぬの、やれ米國はすぐさまに武器や兵隊を送るべきだのと、上下をあげて大騒ぎの渦巻を起してゐるのである。最近の外國電報によると、比島のバタアン半島から脱れ出た米大將マツカサーがこゝに來て、反樞軸軍の總司令官になつたといふことである。

- 爪哇攻略の陸軍の大戦果中、主なものは次の通りである。
- (一) 俘虜 九萬三千(内將校約二千)
 - 内譯
 - 在ジャバ部隊 六萬
 - 在外領部隊 一萬八千
 - 義勇軍 一萬五千
 - (二) 函獲品
 - 飛行機 一五二機
 - 内譯 爆撃機 二四機
 - 戦闘機 四五機
 - その他
 - 戦車(裝甲車を含む) 三六七輛
 - 火炮 七三三門
 - 機關銃(主として航空機用) 一、五六七挺
 - 銃器 七、三三四挺
- (其他 省略)

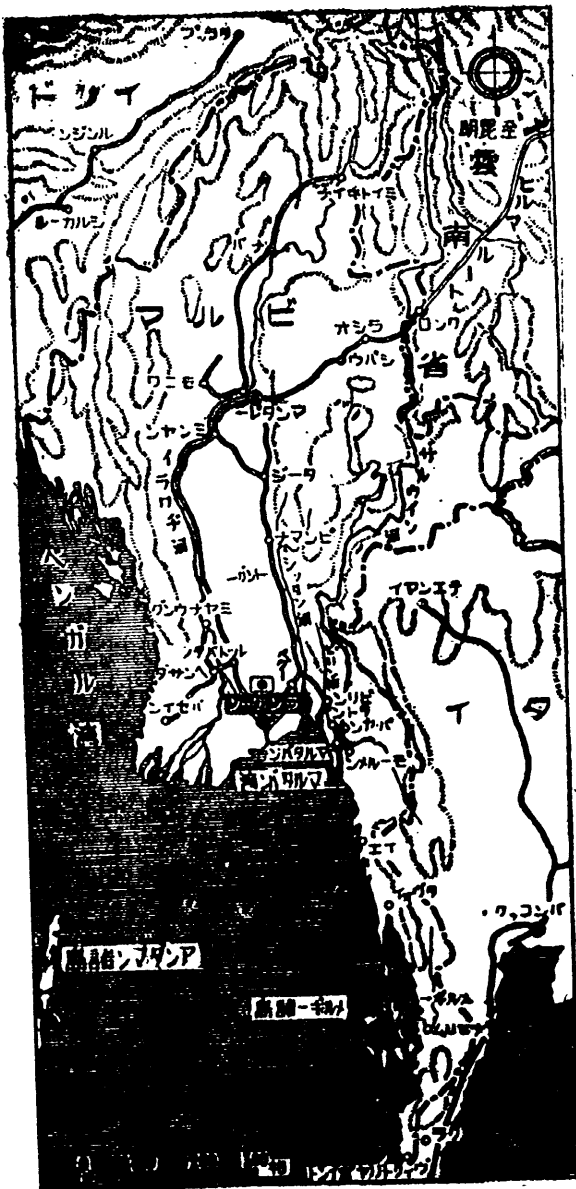
蘭 貢 陷 落 す

一月十七日タイ・ビルマ國境近くのカウメイダイに出で來た敵を打破つた帝國

陸軍部隊は、突如英領ビルマに進駐を開始し、標高千八百米にも及ぶジャンの大

密林、天險を突破して、十日要衝ダゾオイを、三十一日には早くもビルマ第三の都モールメンを、二月十日にはマルタバンを完全占領した。其後の我が軍は、

その計を秘し乍ら急進、二月十六日ピリン河を強行渡河、更にラングーン最後の防衛據點シツタン河を敵前渡河して、二十七日にはベグー附近で、ラングーン



時局解説

マンダレー間の縦断鐵道を断ち切り、息づく間もなく、ラングーン包圍の態勢を整へて、八日こゝに無血入城をしたのである。

の盟首日本の庇護の下、獨立の絶好機として、双手をあげて皇軍を歓迎してをり、新生ビルマの大東亞共榮圈への發足も間近となつた。

いゝことにして、印度を對日長期戦に捲き込もうと印度の御機嫌をとることに躍起になつてをり、先のチャール内閣改造にあつたて、新に入閣した國聖尙書クリツプスを印度に派遣すると言はれてゐるが、前大戦に苦汁を吞まされた印度は、容易に英の口車に乗らうとはせず、英國は徒らに神經をやきもきさせてゐるばかりである。

米英國内に早くも混亂の兆あるに對して、帝國が長期不敗の體制をもつて、米英打倒の百年建設戦を遂行すべきことを切言した。即ちそれを要約してあげれば次の如くである。

一、濠洲は、地域が廣大で人口が極めて少い上に、米英本國と遠く離れてゐるから、防衛することは不可能である。濠洲國民の幸福を全うするために濠洲のとるべき途は自ら明である。徒らに覺ることなくば、蘭印今日の運命は、濠洲明日の運命であることを深く知つて置かなければならぬ。

一、帝國は印度民衆を敵とするものではない。然し米

一方、ラングーンの陥落によつて、英國東亞の最大基地であり、英國の寶庫といはれてゐる印度は、眼の先に日本刀を突きつけられたことになり、英國は土地の廣いのと人口の多いのを

濠印迷夢より覺めよ!!

東條首相は先に一月二十一日、二月十六日と二回に亘つて、大東亞戦争の意義、大東亞建設に關する帝國の

經驗の抱負を明にしたが、更に戦捷第二次祝賀日の十日、貴衆兩院本會議で、尙一段と之を明瞭に宣言し、

一、國民はいよゝ長期建設の覺悟を固め、不屈不撓、如何なる艱苦をも克服して、米英の徹底的撃滅、大東亞新秩序の確立、そして世界平和を招来すべく邁進せねばならない。

英打倒の決意には毫も變りはない。今や印度は英國の欺瞞と搾取から解放されて「インド人のインド」を建設すべき秋だ。

未だ迷夢から覺めない重慶政權こそ、その政權下の民衆を無益に苦しめてゐるものであることを重慶は猛省すべき秋である。

一、過去三箇月間の我が赫赫たる戦果と、米英の連戦連敗に、米英政府は早くも責任のがれのいひわけ、共同目的を達成せねばなら

ぬ。

一、國民はいよゝ長期建設の覺悟を固め、不屈不撓、如何なる艱苦をも克服して、米英の徹底的撃滅、大東亞新秩序の確立、そして世界平和を招来すべく邁進せねばならない。

●創業三十周年記念特別提供 ●新發明! 高級(最高級合金ペン付) 大阪市住吉區 山口製作所 振替大阪 八三三三番
●返金交換自由! 破損修繕保証 ●ロンチン萬年筆 (寫眞は實物大) 天神森町二

●特約販賣店大募集カタクログ進呈 (インキの有無が判り、軸は特易く轉ばない) 大特價 金一圓八十錢 送料十六錢共必ス
絢爛豪華・優秀美麗パール(眞珠)入大理石模様不損 ロンチン最高級萬年筆臨時特賣!!

●工場より直賣に依る新販賣體制實現! 大特價(定價無視奉仕直販) 公定規格品 金一圓九十五錢 送料十六錢 共同購入歡迎



鐵道運賃の改正

四月一日より實施 不急の旅客貨物抑制

農に政府は浮動購買力の吸
收、戦時財源の強化、輸送の調
整と謂ふ三つの見地よりする鐵
道運賃の改正を決定し、鐵道省
はこの方針に基づき、其後開催さ
れた物價審議會及び鐵道運賃審
議會の答申を參照し鋭意研究の
結果成案を得たので、去る四月
一日より運賃の値上げが實施さ
れるに至つた。同時に臺灣總督
府としても此の中央の方針に順
應して、今回鐵道運賃の改正を
行ふこととなつたのであるが、
臺灣の經濟事情を考慮し、鐵道

部に於ては今回は旅客運賃の改
正に主眼を置き、貨物運賃に就
ては産業政策、物價政策の見地
より多少の調整は行ひたるも、
全體としては引上げを行はない
方針を採つた。旅客運賃に就て
は、普通旅客運賃は平均一割五
分強の値上げとなるのである
が、改正の主なる點をあげる
と、三等運賃が従來の一軒に付
一錢五厘五毛が一錢八厘に値上
げされ、二等運賃は三等運賃の
二倍一等運賃は三等運賃の三倍
といふことになつた。

又交通局線と會社線との運賃通
算制度を實施し、實質的運賃の
値下げを圖つたのであるが、一
方物品税を課せられてゐるやう
な高級貨物及び輸送の調整を必
要とする貨物は引上げ、尙輸送
逼迫の現狀に鑑み、遠距離運送
率の是正を行つた。

尙現下輻輳せる交通運輸の圓
滑なる遂行を期する爲、不急不
要の旅客、貨物を抑制し、重要
物資の重點的輸送を企圖し、客
車便による荷物輸送の改正、賄
賃金の引上げ、通し運賃の規定

(急行料金、寢業料金に就て
は、輸送調整上相當大幅の引上
げを既に本年二月一日から實施
中)

次の貨物運賃にあつては、生
産力擴充、物資の割引率を是正
し、且つ割引品目を追加した。

等を改正要旨とする鐵道運輸規
程の全面的改正を行つた。
改正要項の詳細に互つては、
次號に於て述べることにする。

鐵道部運輸課

昭和十七年四月一日發給施行
鐵道部運輸課 運輸課長 齋藤 隆
發行所 東京市千代田區千代田
印刷人 加藤 豊吉
印刷所 小塚本店印刷工場
本報編輯部内
電話 東京二〇七〇番
大阪市東區船場三ノ十一
「鐵道時報」編輯部 南伸社
廣告内線「手紙」部
電話 東京一八四三・一八四六

一回錠で快通正確頭腦明快

頭重、耳鳴、逆上

便秘症に

確信を以て推奨する

腸神經鎮靜劑
特許明發
モモラ錠

本劑「モモラ」は就寝前、僅か一錠の服用で、五時間乃至八時間後
に快通な自然の排便を大量に排泄
し、腸内の積滯物は全く消滅さる
る。之れと同時に、腸神經の興奮
作用を併せて奪ふ、腹痛、脹氣
逆上、眩暈、耳鳴等を明確に解消
し、腸の明快顯著なるを確認す。
故に「モモラ」は、便秘の最良治
療劑として醫學界最高の威名を

備にして、その特長は、内服後、
胃及び小腸では腸明快劑として
の作用を奪ふ、大腸に至つて初め
て排便作用を發揮する、即ち二劑
を以て「腸通」と「腸明快」の
二作用を迅速且つ正確に發揮し更
に胃及び小腸に於て下劑の作用を
起さぬ結果、腸壁の収縮を全く奪
ふたげない。
従つて「モモラ」は便秘の下劑の

如く適用による腸壁の萎縮を
惹起し、且つ腸管を伴はず、此種
に本劑の特長たる確信が決定
的に確證されたのである。今や
本劑の出現によつて「下劑」の最
高水準は決定的に到達せるに至つ
た。之れ本劑と稱する所以であ
る。

文献進呈

東京市目黒區上目黒
八丁目一五三ノ六〇
東京生化學研究所
電話東京二八四五番
郵便東京一四九六一八番



シロ豆腐

ヒゲ剃り後に

お肌をひきしめ
爽快な気分になる

肌色
白色

乳白整肌料

東京・平尾 資平商店

郵報 昭和十二年九月二十日発行 毎月一回 十五日發行 (第十四號)